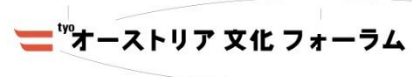


第19回 全日本学生ドイツ語弁論大会 実施要項

記

- 日 時： 2018年(平成30年) 12月1日(土) 午後1時00分より
- 場 所： 京都外国語大学 171 教室
- 主 催： 京都外国語大学
- 後 援： 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム、ゲーテ・インスティトゥート大阪、ドイツ学術交流会(DAAD)、京都日独協会、在日ドイツ商工会議所、毎日新聞社
- 協 賛： ルフトハンザ ドイツ航空、(株)郁文堂、(株)三修社、(株)同学社、(株)朝日出版社、マンハイム大学、ドレスデン工科大学、チューリヒ大学、ザルツブルク大学
- 出場資格： 大学・短期大学・高等専門学校在籍者(大学院生および科目等履修生などを除く)で、原則として以下のいずれかに該当しない者
 - 1) ドイツ語を母語とする者
 - 2) ドイツ語で授業を行う教育機関(小、中、高等学校)に1年以上通った者、もしくはドイツ語圏での在住が通算で1年を超える者※ドイツ語圏に、留学などの在住歴のある者は、当日パスポート(原本)を持参すること。
- 演 題： 自由(但し、本人によって作成された未発表のものに限る)
- 制限時間： 4分以上5分以内
- 申込締切： 2018年10月6日(土) 午後5時
☞申込は、下記の「第19回全日本学生ドイツ語弁論大会参加申込フォーム」に必要事項を記入のうえ送信してください。申込フォーム: <https://goo.gl/ATYc2P>
- 申込受理： 申込メールに対する返信をもって申込みを受理する。申込み後2週間を過ぎて受理のメールが届かない場合は、必ず裏面の問い合わせメールアドレスあるいは電話番号に連絡すること。

- 原稿審査：大会の質の維持を図るため、ドイツ語の原稿による事前審査(10月下旬)を行う。原稿の提出時期は、申込締切後、「原稿審査のお知らせ」のメールで指示する。また、応募者が多数の場合には、原稿審査により、出場者の人数を一枚あたり上限3名とする。
- 入賞選考：以下の選考方法により、弁論の結果を総合して入賞者を決定する。
 - * 弁論の内容
 - * 表現力
 - * 発音
 - * 制限時間の順守
 - * 暗記力(大会当日はプロンプターをつけるが、暗記を前提とする)
 - * 二次審査(弁論直後に、審査員との簡単な質疑応答を行う)
 等
- 審査員：ゲーテ・インスティトゥート大阪(1名)、ドイツ学術交流会(DAAD)(1名)ほか
- 副賞賞品：旅行券、国内語学研修(ゲーテ・インスティトゥート)、ドイツ関連グッズ・書籍、(予定) QUOカードなど
- 交通費：近畿地方2府4県(大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県)を除く遠方からの出場者には、現金(上限2万円)で支給される。ただし、利用交通機関のチケットあるいは領収書(コピー不可)が確認できない場合は、いかなる理由であろうと支給は行わない。乗車券の購入に際しては、学生割引など各種割引を利用すること。なお、大学の所在地が上記2府4県である限り、当日どのような交通ルートであっても支給は行わない。



お申し込み／お問い合わせ先



〒615 - 8558 京都市右京区西院笠目町6 京都外国語大学ドイツ語学科

E-mail: doitsu-benron@kufs.ac.jp TEL: (075) 322 - 6155 (大会実行委員：筒井)